

事務事業マネージメントシート

作成日 平成23年04月27日

事務事業名	サービス利用計画作成事業			担当	健康福祉部 福祉課 障害者福祉係					
政策名	C 思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8129					
施策名	3 障がい者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業						
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					
法令根拠	障害者自立支援法 同法施行令 同法施行規則				<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H18 年度~)					
予算科目	1.一般会計	3.民生費	1.社会福祉費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)					
事業概要	障害者自立支援法の施行に伴い実施。各種自立支援福祉サービスを利用する障がい者に対して、サービス利用の計画書を作成して、的確なサービス利用を受けてもらうことを目的とする。申請に基づき、決定を行い委託先に計画作成を依頼し、それに基づきサービス決定を行う。国県負担金 国1/2 県1/4									

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)	<p>22年度実績 障がい者の状況を調査し、サービス内容の自己管理が困難な利用者やサービスの重複利用等で複雑な支給を受けるケースに対し、委託先に計画作成を依頼し計画に基づきサービスを開始する。</p> <p>23年度計画 前年度同様。</p>																																																			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	<p>身障・療育・精神手帳所持者</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>単位</td> <td>19年度(実績)</td> <td>20年度(実績)</td> <td>21年度(実績)</td> <td>22年度(実績)</td> <td>23年度(見込)</td> </tr> <tr> <td>ア 事業利用希望者数</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 事業利用希望者数	人	0	3	6	8	8	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																														
ア 事業利用希望者数	人	0	3	6	8	8																																														
イ																																																				
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	<p>障がい者が自分にあったサービスを適切に受けられるようにする。</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>単位</td> <td>19年度(実績)</td> <td>20年度(実績)</td> <td>21年度(実績)</td> <td>22年度(実績)</td> <td>23年度(見込)</td> </tr> <tr> <td>ア 身障・療育・精神手帳所持者</td> <td>人</td> <td>2,510</td> <td>2,584</td> <td>3,415</td> <td>3,465</td> <td>3,534</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 身障・療育・精神手帳所持者	人	2,510	2,584	3,415	3,465	3,534	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																														
ア 身障・療育・精神手帳所持者	人	2,510	2,584	3,415	3,465	3,534																																														
イ																																																				
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)	<p>円滑な福祉サービスの利用に結びつける。</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>単位</td> <td>19年度(実績)</td> <td>20年度(実績)</td> <td>21年度(実績)</td> <td>22年度(実績)</td> <td>23年度(見込)</td> </tr> <tr> <td>ア 事業を利用して福祉サービスに結びつけた障がい者数</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 事業を利用して福祉サービスに結びつけた障がい者数	人	0	3	6	8	8	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																														
ア 事業を利用して福祉サービスに結びつけた障がい者数	人	0	3	6	8	8																																														
イ																																																				
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
(2) 総事業費の推移	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																														
投 入 量	事業費	国庫支出金 千円	0	128	460	563	0																																													
		県支出金 千円	0	64	230	281	0																																													
		地方債 千円	0	0	0	0	0																																													
		その他 千円	0	0	0	0	0																																													
		一般財源 千円	0	65	240	282	0																																													
		事業費計(A) 千円	0	257	930	1,126	0																																													
人 件 費	正規職員従事人数 人	0	2	2	2	0	0																																													
	延べ業務時間 時間	0	45	45	45	0	0																																													
	人件費計(B) 千円	0	188	183	192	0	0																																													
	トータルコスト(A)+(B) 千円	0	445	1,113	1,318	0																																														
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																				
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年1月から開始された。																																																			
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?																																																				
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?																																																				

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障がい者に対して、サービス利用計画作成事業を行うことは、福祉サービスの計画的な利用に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者自立支援法に定められているので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 障害者自立支援法に定められているので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 障害者自立支援法に定められているので適切である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 障害者自立支援法に定められているので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 障害者自立支援法に基づき行っているので、事業費の削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人員で対応しているので削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者自立支援法に定められているので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		